

NPO 法人小網代野外活動調整会議は こんな活動をしています。

【保全推進事業】

- ・ 観察ルートの整備、安全点検
- ・ アカテガニ放仔の観察ガイド、警備
- ・ アカテガニ・ピオトープの整備
- ・ 小網代湾岸海浜植生の回復・維持
- ・ 外来有害植物の除去、湿地回復

【学校／団体の環境教育支援事業】

【トラスト緑地保全支援事業（生物調査等）】

小網代の森を散策されるみなさんへ



小網代の森はこういうところ

神奈川県三浦市にある、森と干潟と海がひとつにまとまった、約 70 ヘクタールの集水域です。貴重な自然環境が残されています。

1980 年代半ば開発計画がもちあがりましたが、市民運動の努力で撤回され、いまは全域が首都圏近郊緑地保全区域に指定され、公開にむけた最終調整が始まっています。

神奈川県と（財）かながわトラストみどり財団、それに NPO 法人小網代野外活動調整会議は、森の利用に関する合意事項を定め、利用者にマナーの遵守を呼び掛けています。

NPO 法人小網代野外活動調整会議に 協力したい方は

- ・ 賛助会員になる
- ・ 寄付をする
- ・ 活動に参加するなど、ご検討ください。

小網代の森を団体で利用される方は

- ・ <小網代の森利用連絡・調整票>の提出にご協力をお願いします。
- ・ スタッフによる森のご案内も可能です。（但し寄付またはスタッフ派遣費のご負担をお願いします。）
- ・ くわしくは Web サイトをご参照ください。

お問合せは

NPO 法人 小網代野外活動調整会議

〒223-0053

横浜市港北区綱島西 1-9-13 アクワレル 302

TEL045-540-8320 FAX045-546-4344

URL=<http://www.koajiro.org/>

小網代の森を環境学習・自然学習の場として
利用される皆様は、ご連絡・ご相談ください
ますよう、お願いいたします。

森を散策される時の注意事項

- ・ 谷の移動はトレイルをはずれないよう、ご注意ください。トレイルをはずれて森などには入らないでください。
- ・ 湿原を守るために、ぬかるみは長靴を履いて、川沿いのトレイルに沿って歩いてください。
- ・ 保安全管理上の観点から、火の使用は避けてください。
- ・ ごみは持ち帰り、地権者や森の生きものたちの迷惑にならないようにしてください。
- ・ 様々な動植物のすみかです。動植物の採取などで自然環境を破壊しないでください。
- ・ スズメバチ、マムシなど危険生物にご注意ください。

干潟で観察する

河口にはアシ原に囲まれた干潟がひろがっています。
この干潟はカニたちの楽園。たくさんの種類のカニがすみ分けをしています。



チゴガニのダンス

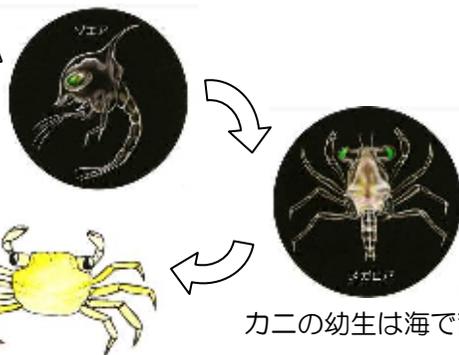
引き潮の時間を確認してから出かけましょう。
アシ原には入らないでください。
干潟を移動するときは濡スジを歩きましょう。
裸足で歩くと危険です。

参考：「小網代の谷のカニ図鑑」
NPO 流域自然研究会発行

アカテガニ

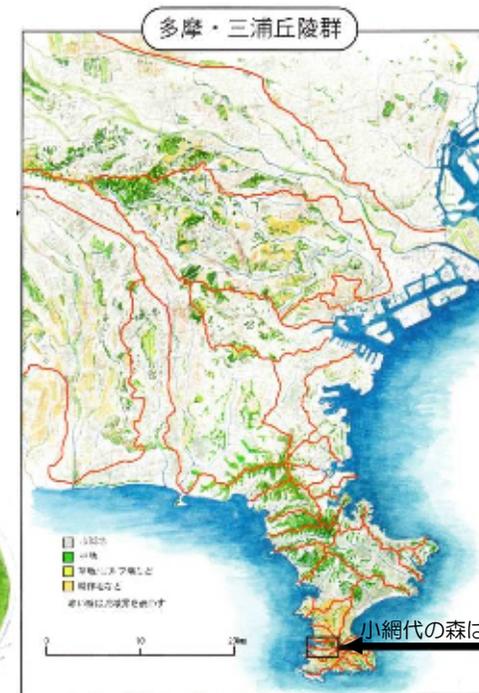


森全体に暮らす、小網代の自然の象徴です。



カニの幼生は海で育ちます。

小網代の森は一番高い尾根でも標高およそ80m、中央の谷を流れる浦の川は約1.2km。森に降った雨は谷に集まり、川となり、河口から海へと注ぎます。人工物により分断されることのない集水域です。



中央の谷を歩く

上流



イノデ

中流



ミズキ
ハンノキ

下流



ジャヤナギ
オギ、アシ

源流から河口まで季節ごとに違った楽しみが発見できます。
トレイルを広げないように、ぬかるみも長靴を履いて、楽しみましょう。
初夏から秋季はスズメバチやマムシが出現し、藪が深く、危険なため、通行をお控えください。